

葛飾総合高等学校 令和2年度 教科 地歴公民 科目 世界史B 年間授業計画

教科 科：地歴公民 科目：世界史B 単位数：4単位
対象学年組：第2・3学年
教科担当者：三浦
使用教科書：詳説 世界史B 改訂版（山川出版社）
使用教材：グローバルワイド最新世界史図表（第一学習社）

	指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	臨時休業（自宅学習）	教科書・図表を参考にして、配布プリントに基づき、自主的に世界史学習を進める。	提出物	0

	指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	臨時休業(自宅学習)	教科書・図表を参考にして、配布プリントに基づき、自主的に世界史学習を進める。	提出物	0

	指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	近世ヨーロッパ世界の形成	○大航海時代、アメリカ大陸の征服、商業革命と価格革命、について理解する ○ルネサンスの本質、文芸と美術、科学と技術、について理解する ○宗教改革の始まり、カルヴァン派と宗教改革の広がり、対抗宗教改革、について理解する	定期考査 提出物 授業態度	8

	指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	近世ヨーロッパ世界の形成／ 近世ヨーロッパ世界の展開	○主権国家と主権国家体制、イタリア戦争、スペインの全盛期、オランダの独立とイギリスの海外進出、フランスの宗教内乱と絶対王政、17世紀の危機と三十年戦争、東ヨーロッパの新しい動き、について理解する ○重商主義政策、イギリス革命、イギリス議会政治の確立、ルイ14世紀の時代、プロイセンとオーストリア、北方戦争とロシア、ポーランドの分割、について理解する ○アジア市場の攻防、アメリカにおける植民地争奪、奴隷貿易と近代分業システムの形成、について理解する	定期考査 提出物 授業態度	16

	指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月	近世ヨーロッパ世界の展開／ 近代欧米世界の成立	○近代科学と近代的世界観、啓蒙思想、宮廷文化、成長する市民と文化、について理解する ○世界最初の産業革命、機械の発明と交通機関の改良、資本主義体制の確立と社会問題の発生、について理解する	定期考査 提出物 授業態度	8

	指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	近代欧米世界の成立／近代国民国家の発展	○北アメリカ植民地の形成、アメリカ合衆国の独立、合衆国憲法の制定、について理解する ○フランス革命の構造、立憲君主政の成立、戦争と共和政、革命の終了、皇帝ナポレオン、について理解する ○ウィーン会議、ウィーン体制の動揺と七月革命、イギリスの自由主義的改革、ギリシアの独立と東方問題、社会主義思想の成立、1848年革命、について理解する	定期考査 提出物 授業態度	16

	指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 0 月	近代国民国家の発展	○クリミア戦争と列強体制の緩和、ロシアの改革、ヴィクトリア朝のイギリス、フランス第二帝政と第三共和政、イタリアの統一、ドイツの統一、ドイツ帝国の成立とビスマルク外交、北ヨーロッパ諸国の動向、国際的諸運動の進展、について理解する ○ラテンアメリカの独立、アメリカ合衆国の領土拡大、南北戦争とその結果、アメリカ合衆国の重工業化と大国化、について理解する ○貴族文化から市民文化の時代へ、文学・芸術における市民文化の潮流、近代諸科学の発展、近代大都市文化の誕生、について理解する	定期考査 提出物 授業態度	16

	指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 1 月	アジア諸地域の動揺	○オスマン帝国支配の動揺、アラブ民族の目覚め、オスマン帝国の改革、イラン・アフガニスタンの動向、について理解する ○西欧勢力の進出とインドの植民地化、植民地統治下のインド社会、インド大反乱とインド帝国の成立、東南アジアの植民地化、タイの情勢、について理解する ○清朝の動揺とヨーロッパの進出、欧米諸国との条約、国内動乱と近代化の始動、日本の開国と明治維新、東アジア国際秩序の再編、について理解する	定期考査 提出物 授業態度	16

	指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 2 月	帝国主義とアジアの民族運動	○第2次産業革命と帝国主義の成立、欧米列強の帝国主義と国内政治、第2インターナショナルの結成、について理解する ○アフリカの植民地化、太平洋地域の分割、ラテンアメリカ諸国の従属と抵抗、列強の二極分化、について理解する ○中国分割の危機、日露対立と列強、日本の韓国併合、辛亥革命、インドにおける民族運動の形成、東南アジアにおける民族運動の形成、西アジアの民族運動と立憲運動、について理解する	定期考査 提出物 授業態度	14

	指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	二つの世界大戦	○バルカン半島の危機、第一次世界大戦の勃発、戦時外交と総力戦、大戦の結果、ロシア革命、ソヴィエト政権と戦時共産主義、ネップとソ連の成立、について理解する ○ヴェルサイユ体制とワシントン体制、国際協調と軍縮の進展、西欧諸国の停滞、イタリアのファシズム、東欧・バルカン諸国の動揺、ソ連の社会主義建設、アメリカ合衆国の繁栄、について理解する ○第一次世界大戦とアジア、日本の動きと東アジアの民族運動、国民党と共産党、インドにおける民族運動の展開、東南アジアにおける民族運動の展開、トルコ革命、イスラーム諸国の動向、アフリカの民族運動について理解する	定期考査 提出物 授業態度	16

	指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月	二つの世界大戦	○世界恐慌とその影響、ニューディールとブロック経済、満州事変・日中戦争と中国の抵抗、ナチス＝ドイツとヴェルサイユ体制の崩壊、ソ連の五カ年計画とスターリン体制、ファシズム諸国の構成と枢軸の形成、について理解する ○ナチス＝ドイツの侵略と開戦、ヨーロッパの戦争、独ソ戦、太平洋戦争、ファシズ諸国の敗北、大戦の結果、について理解する	定期考査 提出物 授業態度	16

	指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月	冷戦と第三世界の独立	○戦後国際秩序の形成、米ソ冷戦の始まり、東西ヨーロッパの分断、中華人民共和国の成立と南北朝鮮、東南アジアの独立、南アジア・西アジアの独立、について理解する ○朝鮮戦争と軍拡競争の激化、アメリカ合衆国の「豊かな社会」化、西欧・日本の経済復興、ソ連の「雪どけ」と平和共存政策、について理解する ○第三世界の連携、アフリカ諸国の独立と苦悩、ラテンアメリカ諸国とキューバ革命、米ソ両大国の動揺と平和共存への転換、ヨーロッパでの緊張緩和、中ソ対立と中国の動揺、ベトナム戦争とインドシナ半島、、第三世界の開発独裁と南・東南アジアの自立化、について理解する	定期考査 提出物 授業態度	14